日刊建設工業新聞創刊90周年企画
建設コンサルタントの 新機軸

〔革新〕と〔挑戦〕と〔変革〕で新たなステージ

現地法人の拡大、非ODA案件の開拓へ

オリエンタルコンサルタンツグローバル
代表取締役社長 **米澤　栄二氏**

―世界の人々の豊かなくらしと夢を創造

―2014年の独立分社化以降、どのような組織・海外展開を進めてきましたか。

―最も力を入れているのは、現地法人の拡充です。ODA（政府開発援助）案件が多くを占めていたOCG（オリエンタルコンサルタンツグローバル）の海外事業を、民間案件へ拡大するなどの組織変更を進めています。現地のスタッフ育成、ノウハウ蓄積のため、現地法人の拡充は、ODA案件の受注にも役立ちます。現在、ODA案件の受注は、ODAの実績がある会社に優先的に発注されるケースが多いです。現地法人を拡充することで、ODA案件の受注を増やすことを目指しています。

―現在、2017年に新たに設立されたベトナムのエンジニアを含め、現地法人の社員数は約300人まで増えています。また、エンジニアを含め、ベトナムでは、ODA案件の受注を増やすことを目指しています。

―「挑戦（チャレンジ）」として、どのような取組みを進めていますか。

―ODA案件の受注を増やすことを目指しています。現地法人の拡充は、ODA案件の受注を増やすことにもつながります。また、ODA案件の受注を増やすことを目指しています。

―「変革（チェンジ）」として、どのような取組みを進めていますか。

―ODA案件の受注を増やすことを目指しています。現地法人の拡充は、ODA案件の受注を増やすことにもつながります。また、ODA案件の受注を増やすことを目指しています。

―海外事業の強化策は